

平成30年度決算について

令和元年7月29日
麻生議員提出資料

報道発表

平成30年度決算概要（見込み）

令和元年7月2日
財務省

（単位：億円、億円未満切捨）

〔歳入〕		〔歳出〕	
税収	4,283	不 用	16,037
（主な内訳）			
〔 所得税 4,255 〕		〔 予備費 2,554 〕	
〔 法人税 220 〕		〔 国債費 2,127 〕	
〔 消費税 ▲1,421 〕		〔 その他 11,354 〕	
税外収入	3,954		
（主な内訳）			
〔 返納金 3,407 〕			
公債金	▲10,000		
計	▲1,761	計	16,037
		└──┘	
	合計	14,275	(A)
地方交付税交付金等財源増		991	(B)
財政法第6条の純剰余金 (A-B)		13,283	

（注）計数は、現時点における見込みであるので、異同を生ずることがある。

平成30年度決算税収について

- 30年度決算税収は60.4兆円であり、これまでの最高額であった平成2年度(60.1兆円)を超え、過去最高。
- 補正後税収(59.9兆円)との比較では、所得税を中心に+0.4兆円上回った。

(注) 所得税の増加要因は大口の親子間配当に係る源泉所得税(0.4兆円)が主な要因(30年度限りの一時的な押し上げ要因であり、元年度税収において同額の還付が生じる)。

(単位:兆円)

	29年度	30年度			
	決算額 (①)	補正後予算額 (②)	決算額(概数) (③)	対29決算 (③-①)	対補正後予算 (③-②)
所得税	18.9	19.5	19.9	+1.0	+0.4
給与	11.3	11.7	11.7	+0.4	▲ 0.0
配当	4.2	4.5	5.0	+0.8	+0.5
法人税	12.0	12.3	12.3	+0.3	+0.0
消費税	17.5	17.8	17.7	+0.2	▲ 0.1
その他	10.4	10.3	10.5	+0.1	+0.1
一般会計分計	58.8	59.9	60.4	+1.6	+0.4

